

子供の交通事故発生状況

令和7年3月末

1 子供の交通事故発生状況

令和7年3月末現在の子供の交通事故（未就園児、園児、小学生及び中学生が死傷した交通事故）は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は増加しています。

また、平成30年以降、死亡事故の発生はありません。

【子供の交通事故発生状況】

（令和7年3月末速報値）

区 分	発生件数	死者数	負傷者数		
			重傷	軽傷	計
本 年	65	0	7	74	81
前 年	58	0	8	58	66
増 数	7	0	-1	16	15
減 率	12.1	-	-12.5	27.6	22.7

【子供の死傷者の状態別等内訳】

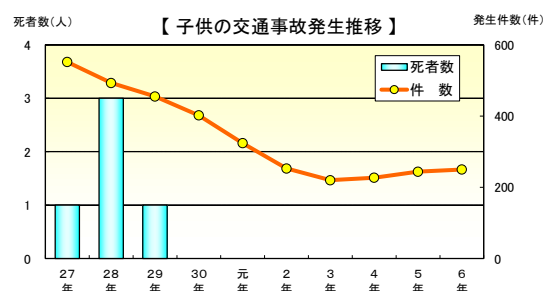
（令和7年3月末速報値）

区分	未就園児	園児	小学生							中学生	合計	構成率
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計			
歩 行 中	0	3	2	1	3	0	2	1	9	5	17	21.0
自転車乗用中	0	0	2	2	0	3	0	1	8	6	14	17.3
四輪等同乗	8	9	2	4	4	4	1	4	19	14	50	61.7
合 計	8	12	6	7	7	7	3	6	36	25	81	100.0
構成率	9.9	14.8	7.4	8.6	8.6	8.6	3.7	7.4	44.4	30.9	100.0	

2 子供の交通事故の発生推移（基礎データ平成27年～令和6年）

発生件数は、記録の残る昭和40年以降で最少となった令和3年の翌年から微増の傾向が続いていますが、令和6年は過去4番目に少なく、ピーク時（昭和53年。1,687件）の2割以下（14.8%）まで減少しました。

死亡事故は、平成27年から同29年まで1～3人の死者数で推移しましたが、平成30年以降は7年連続で発生していません。



区分	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
件 数	552	493	455	402	324	253	220	227	244	250
死 者 数	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0
負傷者数	630	584	518	468	379	309	261	266	289	289

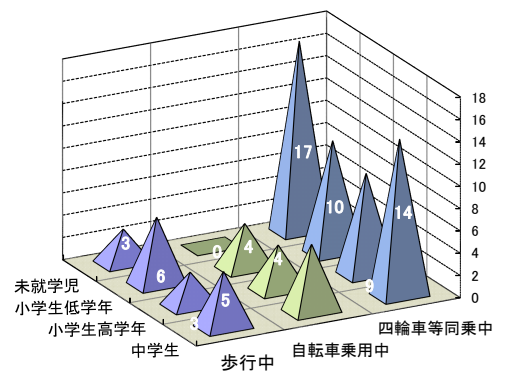
3 子供の交通事故の発生特徴等（令和7年3月末速報値）

(1) 四輪車等同乗中が多く、シートベルト着用率が低い

死傷者の状態別では、四輪車等同乗中が最も多く、約6割（81人中50人。61.7%）を占めています。

シートベルトやチャイルドシートなどの着用率は92.0%（50人中46人）で、子供以外の世代の着用率（791人中747人。94.4%）と比較して2.4ポイント低くなっています。

【状態別死傷者数】



(2) 歩行中は小学生低学年、自転車乗用中は中学生が多い

四輪車等同乗中以外の死傷者を学年別に分析すると、歩行中では小学生の低学年が約4割（17人中6人。35.3%）を占め、自転車乗用中では中学生が約4割（14人中6人。42.9%）を占めています。

小学生低学年の歩行中死傷者の通行目的別では、通学園中が約7割（6人中4人。66.7%）となっています。

中学生の自転車乗用中死傷者の通行目的別では、私用と通学園中がそれぞれ3人（50.0%）となっています。

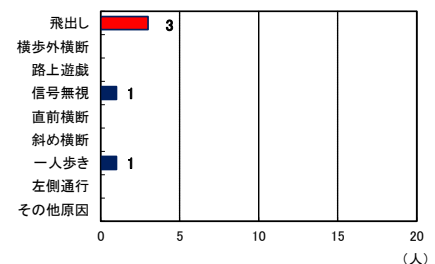
【歩行中死傷者の通行目的】

	未就学児	小学生低学年	小学生高学年	中学生	計
私用	2	2	0	0	4
通学園中	1	4	1	5	11
その他	0	0	2	0	2
計	3	6	3	5	17

【自転車乗用中死傷者の通行目的】

	未就学児	小学生低学年	小学生高学年	中学生	計
私用	0	4	4	3	11
通学園中	0	0	0	3	3
その他	0	0	0	0	0
計	0	4	4	6	14

【子供歩行者の原因】



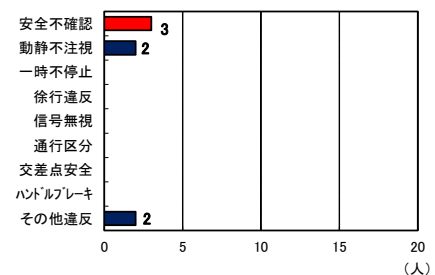
(3) 歩行者の約2割に違反あり

歩行中死傷者の約2割（17人中4人。23.5%）に違反行為が認められ、飛出しが3人と多くなっています。

(4) 自転車は約5割に違反あり

自転車乗用中死傷者の約4割（14人中6人。42.9%）に違反行為が認められ、安全不確認が3人と多くなっています。

【子供自転車の違反】



(5) 自転車の約7割はヘルメット非着用

自転車乗用中死傷者（同乗者を含む）のうち、約8割（14人中11人。78.6%）がヘルメット非着用でした。

自転車に乗るときはヘルメットを必ず着用することを保護者はきちんと子供に指導し、ヘルメットの着用を習慣付けさせましょう。

【ヘルメット着用状況】

	重傷	軽傷	計
着用	0	3	3
非着用	1	10	11
（うち効果あり）	0	0	0
計	1	13	14

